ウィメンズアイの環境アクション宣言
～地域とともに、持続可能な未来へ～

ウィメンズアイは、今日の小さな選択が、明日の地域や社会のかたちをつくると信じています。地域に根ざした活動を行う団体として、循環型の社会の実現に向け、環境への配慮を責任ある姿勢で実践していきます。

---

1. 資源を大切に使います

イベントやワークショップ、日々の運営において、廃棄物をできる限り減らし、 環境に配慮した資材や方法を選びます。

- 使い捨てプラスチックを使わず、リユース食器・カトラリーを使う。
- マイボトル・マイカップ・マイ箸の持参を呼びかける。
- 会場に給水スポットを設置する。（ペットボトルや紙コップの削減）
- 食事は適量の提供で、食べ残しゼロを目指す。
- 印刷物は必要最小限にし、両面印刷・裏紙・デジタル配布を活用する。
- 会場内で分別ごみ箱を設置し、リサイクルを徹底する。
- 生ごみはコンポストで資源化する。
- 段ボールなどの梱包材は福祉施設など地域の必要とする場へ寄付する。

---

2. 地元の資源を活かします

食材や物品、サービスは可能な限り地元で調達し、輸送による環境負荷を減らすとともに、地域経済を支えます。

- 食材・物品は地元の生産者・商店・飲食店から購入する。
- 地産地消の考え方や調達先について、イベント内で参加者と共有する。
- 地元事業者への発注を通じて、地域経済への還元を意識する。

---

3. 環境負荷の少ない移動手段を推奨します

活動時には乗り合いや公共交通機関の利用など、環境に配慮した移動方法を奨励します。

- イベント案内に公共交通のアクセス情報を記載し、公共交通機関の利用を促す。
- 参加者同士での乗り合いを事前に調整する。
- 会場が近距離の場合は、徒歩や自転車での移動を促す。

---

4. エネルギーの使い方を見直します

電気やガスの使用を抑え、省エネを意識した活動を行います。また、再生可能エネルギーの活用や、エネルギー使用の「見える化」にも取り組みます。

- 服装で調節し、空調の使いすぎを防ぐ。
- 昼間は自然光を活かし、照明を最小限にする。
- お湯は魔法瓶（ポット）に保存して電力を節約する。
- 宿泊・会場では、空調の温度設定や換気を調整し省エネに配慮する。
- 活動拠点では可能な範囲で再生可能エネルギーの活用を検討する。
- 真夏や真冬は、複数人で1か所に集まり冷暖房をシェアする。

5.学び合いを通じて意識を育てます

環境に関する気づきと学びの場を提供し、参加者が自分ごととして考え、行動に移せるよう支援します。

- フードロス・マイクロプラスチックなどをテーマにした学びの場を提供する。
- 地元の環境保全活動への参加や協働の機会をつくる。
- 日常生活に取り入れやすい「エコ行動リスト」を作成する。

---

6. 地域と協力して行動します

地元の団体や事業者、住民と連携し、共に環境にやさしい地域づくりを進めていきます。

- 地元の商店・施設・NPO・住民と連携し、清掃活動やリサイクル活動などを共に行う。
- 地域の方と一緒に、昔ながらの知恵や環境への配慮を学び合う。

---

7. 自然と共に生きる暮らしを大切にします

身近な自然やいのちに目を向け、自然の恵みに感謝しながら、それを　次の世代へつないでいく行動を実践します。

- 地域の草花や季節の移ろいを感じる活動を取り入れる。
- 化学肥料や農薬を使わない地元のオーガニック食材を選ぶ。
- 自然素材（木綿・麻・竹製品など）の道具を積極的に使う。

2025年5月30日
特定非営利活動法人ウィメンズアイ